

IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud

ハイライト

- ロック・ストレージのハイブリッド・クラウド戦略を実現
- オンプレミス・ストレージとパブリック・クラウドの間でデータを複製または移行
- オンプレミスとクラウドの間での災害復旧戦略を実装
- オンプレミスとクラウドの両方で自由にストレージを選択
- 使い慣れた高度なストレージ機能をクラウド上でも利用できることへのメリット

パブリック・クラウド・ストレージへのリアルタイムな災害復旧、レプリケーション、移行を実現

今日の企業にとって、急増するデータ量を保管するスペースの確保は重要な課題ですが、データに関する課題はそれだけではありません。最近の調査によると、企業は「データ保護」、「ハードウェアのコスト」、「急増するデータ量」をストレージ課題の上位に挙げています。¹ また別の調査では、78 パーセントがパブリック・クラウド・サービスをある程度使っていると回答しています。² つまり、組織がデータの保管、管理、保護を行う方法は、データのために用意するストレージ容量と同じくらい重要だということです。

企業にとっての課題は、これまでの柔軟性を維持しながら、複雑化することなく、また新たな資本投資をすることなく、オンプレミス・ストレージとパブリック・クラウド・ストレージをどのようにリンクさせるかということです。

IBM Spectrum Virtualize は、IBM SAN ボリューム・コントローラー (SVC)、IBM Storwize ファミリーのストレージ・ソリューション、IBM FlashSystem 9100 および VersaStack のコンバージド・インフラストラクチャーで長年の実績がある業界最先端のソフトウェア定義ストレージ・ソリューション³であり、15 万台以上のシステムで IBM Spectrum Virtualize が稼働しています。これらのシステムは、8.2 エクサバイト以上のデータを管理しながら、ファイブ・ナインを超える可用性を達成しています。⁴

オンプレミスで稼働する IBM Spectrum Virtualize は、ストレージ・システムに内蔵された容量のほか、IBM および他社製の 440 種類以上のストレージ・システムの容量も管理対象としてサポートします。このソリューションは、幅広いストレージのサポートにより、今日のデータセンター内で稼働している多くのストレージにも適用できます。IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は、IBM Cloud Performance および Endurance ブロック・ストレージ・オプションをサポートします。

IBM Spectrum Virtualize と IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud が連携しながら、オンプレミスとクラウド・データセンター間またはクラウド・データセンター間での同期および非同期ミラーリングをサポートします。これらの機能を利用すると、次のことを実現できます。

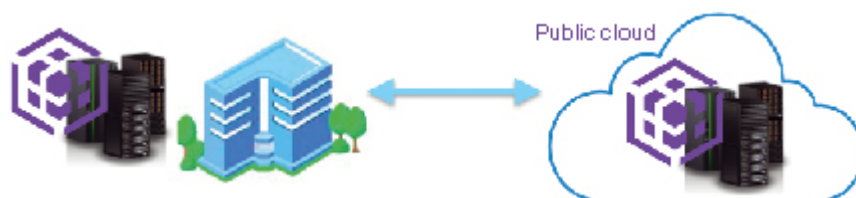
- オンプレミスとクラウド・データセンター間、またはクラウド・データセンター間でデータを移行
- オンプレミスとクラウド・データセンター間、またはクラウド・データセンター間の災害復旧対策を実装
- オンプレミス・ソースからの容易なデータコピーにより、クラウド・ベースの DevOps を実現
- IBM FlashCopy や IBM Easy Tier などの先進的なデータ・サービスを使用して、基本的な IBM Cloud のパフォーマンス、または Endurance・ブロック・ストレージのパフォーマンスと機能性を強化

IBM Spectrum Virtualize の機能には以下が含まれています。

- 幅広いベンダーの 440 種以上のストレージ・システムをサポート (オンプレミスのみ)
- シンプロビジョニングを備えたストレージプールおよび自動割り当て
- Easy Tier による自動階層化
- IBM Real-time Compression により、最も要件の厳しいアプリケーションで扱われるデータも最大 5 倍多く保存可能³ (オンプレミスのみ)
- ソフトウェアによる暗号化機能により、既存のストレージのデータ・セキュリティを強化 (オンプレミスのみ対応、IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ではクラウド・インフラストラクチャー暗号化サービスを使用⁷)

- IBM FlashCopy とリモート・ミラーにより、ローカルおよびリモート・コピーに対応
- VMware、Microsoft Hyper-V、IBM PowerVM®、Docker、Kubernetes などの仮想化およびコンテナ化サーバー環境に対するサポート

IBM Spectrum Virtualize を利用するとさまざまなメリットを享受できます。たとえば、わずか 5 パーセントのフラッシュ・ストレージを追加すれば性能が 5 倍向上し、IBM Spectrum Control を併用すれば人件費と管理コストが 5 パーセントから最大 63 パーセント低減し、ストレージ利用率が最大 100 パーセント高くなります。⁶



Storage administrators can easily migrate data from any of more than 440 supported storage systems to standard public cloud storage, or use public cloud options for disaster recovery.

IBM Spectrum Virtualize のメリット

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアがもたらす先進的なメリットにより、ストレージの利用方法が主に 3 つの点で改善されます。

データ価値の向上: IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアにより、ストレージ使用率の向上やアプリケーションが高速化され、ビジネスの知見を迅速に得られるようになり、データ保管のコスト低減が実現します。

データ・セキュリティの向上: IBM Spectrum Virtualize を使用すると、データ保護、アプリケーションのモビリティ、災害復旧などを含む高可用性戦略を実現しながら、盗難や不適切な漏洩からデータを保護できます。

データのシンプル性の向上: IBM Spectrum Virtualize により、選択したインフラストラクチャーに左右されずにデータ戦略を立案でき、異機種混合のストレージ環境にわたり、緊密に統合された機能と一貫性のある管理を実現できます。

IBM Spectrum Virtualize がオンプレミスまたはクラウドに提供するソフトウェア層により、より多くのサービスを迅速かつ効率的に提供したり、リアルタイムなビジネスの知見を抽出したり、顧客とのコミュニケーションを増やすことで、ビジネスに大きな優位性をもたらします。迅速

で柔軟なプロビジョニング、容易な構成変更、ストレージ階層間の無停止でのデータ移動、単一のユーザー・インターフェースなどの機能により、ハイブリッド・クラウド環境にまたがるストレージ基盤がより簡素化でき、費用対効果も上がり、管理もしやすくなります。

拡張性

サポート対象の IBM Cloud ベア・メタル・サーバー構成の選択により、費用と性能の要件に柔軟に対応できます。ペアで導入すると可用性に対応でき、さらに追加すれば、拡張性に優れた構成を実現できます（最大 4 ペア）。フラッシュ・バックアップされた⁷ IBM Cloud Performance ストレージおよび高効率の IBM Cloud Endurance ストレージ・オプションを使用して、お客様固有のニーズに合わせた構成を構築します。ストレージの追加や変更はいつでもできます。パフォーマンス・ストレージ専用サーバーと事前に割り当てられた I/O 処理性能 (IOPS) により、一貫して確実な性能が得られます。

クラウド向けに設計されたデプロイメント

世界中 25 カ所の IBM クラウド・データセンターから、ご希望のサーバーとストレージ構成をご注文いただけます。インストール・スクリプトにより、IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアが自動的に導入され、すぐにカスタマイズできます。IBM Cloud のサーバーとストレージは、毎月の使用状況に応じて課金され、IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアも月単位で課金されます。また、必要に応じて追加のストレージ容量を購入できるように、従量制の追加オプションも用意されています。

ハイブリッド・クラウド・ソリューションの構築

パブリック・クラウドの場合、ある施設のストレージを別の施設のほぼ同一のストレージにただコピーしてデータを複製するという従来の手法は通用しません。また、従来のソフトウェアを使用してデータを複製すると、不要な負荷がアプリケーション・サーバーにかかります。IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud は、オンプレミスとクラウド・ストレージを組み合わせた新しいソリューションにより、より低いコストで高い柔軟性を実現し、包括的なユース・ケースの選択肢に対応します。

¹ 「2017 Storage Trends: Challenges and Spending」 (2017 年のストレージ・トレンド:課題と支出)、Enterprise Strategy Group、2017 年 8 月。 <http://www.esg-global.com/research/esg-brief-2017-storage-trends-challenges-and-spending>

² 「2017 IT Spending Intentions Survey」 (2017 年 IT 支出に関する意識調査)、Enterprise Strategy Group、2017 年 3 月。 <http://www.esg-global.com/2017-it-spending-intentions-survey>

³ 「IBM Spectrum Storage Suite: Meeting Industry Needs for Software-Defined Storage」 (IBM Spectrum ストレージ・スイート:ソフトウェア定義ストレージに関する業界ニーズへの適合)、IDC、2016 年 1 月。 <https://www-01.ibm.com/common/ssi/cgi-bin/ssialias?subtype=WH&infotype=SA&htmlfid=TSLO3265USEN&attachment=TSLO3265USEN.PDF>

⁴ IBM の社内測定値に基づく - 2017 年 7 月。

⁵ IBM ラボによる測定値 - 2012 年 4 月。

⁶ IBM Easy Tierテクノロジーを使用した IBM ラボの測定値- 2010 年 8 月。

⁷ 一部の IBM Cloud データセンター

IBM Spectrum Virtualize at a glance

	IBM Cloud	AWS
Storage supported	IBM Endurance, Performance block storage	Elastic Block Storage, S3
Licensing approach	All inclusive flat capacity licensing per TB/Month or perpetual license with options for multi-year service and support	All inclusive flat capacity licensing per TB/Month or perpetual license with options for multi-year service and support
Platforms	IBM Cloud bare metal servers (one per node)	EC2 instances (one per node) from the following list: c5.4xlarge, c5.9xlarge or c5.18xlarge
Reliability, availability and serviceability (RAS)	IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud software	IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud software
Deployment approach	Semi-automated script to deploy on cloud infrastructure	AWS Marketplace with Cloud Formation Template
Service	IBM for both software and cloud infrastructure	IBM for software; Amazon for cloud infrastructure
Scalability	Up to eight nodes per cluster	Up to four nodes per cluster

IBMをお勧めする理由

IBM Spectrum Virtualizeは、IBM Spectrum Storage ファミリーのソリューションを提供します。これらのソリューションとして、分析主導型データ管理用の IBM Spectrum Control、保護の最適化とバックアップ・コスト低減を実現するための IBM Spectrum Protect、データを高速保持するための IBM Spectrum Archive、クラウドベースのストレージを迅速導入するための IBM Spectrum Accelerate、非構造化データ用に非常にスケラブルな高性能ストレージを提供するための IBM Spectrum Scale、コピー管理を簡素化するための IBM Spectrum Copy Data Management などがあります。

IBM Research は、ストレージの管理機能と最適化機能など、ソフトウェアとハードウェア双方におけるストレージ技術開発のリーダーです。データを最大限に活用するために、IBM は、アナリティクス、コンテンツ管理、およびデータベースのための業界最先端の機能を提供しています。{\f165 何千ものお客様のビジネスを支える}\f3 40}\f165 以上のグローバルデータセンターを備えた }\f3 IBM }\f165 は、クラウドベースのストレージおよびコンピューティングサービスの主要プロバイダーです。}

詳細情報

IBM Spectrum Virtualize for Public Cloud ソフトウェアと IBM Spectrum Storage ファミリーのストレージ・ソフトウェア製品の詳細については、日本 IBM 担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください：
ibm.com/us-en/marketplace/virtualization-software。

また、IBM グローバル・ファイナンスでは、お客様がビジネスを成長させるために必要なテクノロジーをご利用できるよう、多数の支払いオプションをご提供しています。購入から廃棄まで、IT 製品とサービスの完全なライフサイクル管理を提供します。：
<https://www.ibm.com/financing/jp-ja/> をご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2020.

IBM, the IBM logo, and ibm.com are trademarks of International Business Machines Corp., registered in many jurisdictions worldwide. Other product and service names might be trademarks of IBM or other companies. A current list of IBM trademarks is available on the Web at <https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml>, and select third party trademarks that might be referenced in this document is available at https://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml#section_4.



Intel, Intel logo, Intel Inside, Intel Inside logo, Intel Centrino, Intel Centrino logo, Celeron, Intel Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, and Pentium are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation or its subsidiaries in the United States and other countries.

All statements regarding IBM's future direction and intent are subject to change or withdrawal without notice, and represent goals and objectives only.